

## 2025 年度 四国支部活動開催報告

主 催：公益社団法人日本語教育学会、愛媛大学国際連携推進機構

開 催 日：2025 年 12 月 9 日（火）14:30～16:00

会 場：オンライン

参加人数：15 名（会員 3 名、一般 12 名）

この報告会は「日本語教育学会 支部活動」の四国支部内の企画として、2017 年から開催しています。目的は、学会参加の機会のない愛媛県内を中心とする四国地域の日本語教育関係者に学会の情報を提供することです。今回は、業務時間にオンラインで開催してほしいという行政関係者からの要望を踏まえ、平日午後にオンラインで開催しました。当日の参加者は 15 名で、内訳は、愛媛県を中心とした、四国内の日本語教師、学生、日本語ボランティア、日本語ボランティア団体や行政の関係者と多岐にわたっていました。

当日は、まず秋季大会の全体の流れを簡単に説明した後、報告者が参加して特に印象に残った一般公開プログラムや口頭発表・ポスター発表について報告しました。その後は、参加者全員で報告された内容を中心に、それぞれの現場の情報共有・意見交換を行い、短い時間ではありましたが、最後まで活発な話し合いが行われました。報告会後のアンケートでは、「複数の発表内容を短く分かりやすくまとめていて、とても有り難かった。長い間学会に参加していなかったので、良いモチベーションになった。」「学会レベルの情報を、伝達していただけることはとても重要だと思う。可能な限り、継続して参加できればと思う。」等、肯定的な意見が見受けられました。また、「報告会の中でも話があった「ことばのものさし」等についての勉強会が開催されると嬉しい」といった今後の活動への具体的な提案も得られました。一方で、「以前のオンライン開催で、意見交換がブレイクアウトルームで行われた際に連絡先の交換等ができ、その後のつながりができたので、オンライン開催の際はブレイクアウトルーム等の少人数でやりとりができる時間があると良い。」といった、特に意見交換に関わる示唆に富んだ意見もありました。なお、この支部活動は、愛媛大学国際連携推進機構と共に開催されました。

過年度に引き続きのオンライン開催となりましたが、今回も大きな支障もなく無事に終えることができました。この場を借りて、本支部活動にご参加くださった皆様、そして、本支部活動の開催のためにご協力くださった四国支部活動委員ならびに支部活動運営協力員を中心とする関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。

今日の報告について	
日本語教育学会大会のプログラム構成	
<input checked="" type="checkbox"/> 一般公開プログラム	無料で誰でも参
<input type="checkbox"/> 賛助団体会員し出展ブース	
<input type="checkbox"/> 研究発表 パネルセッション	
<input type="checkbox"/> 研究発表 口頭発表	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究発表 ポスター発表	
<input checked="" type="checkbox"/> 交流ひろば	有料
2025年度秋季ナ <a href="https://nkgtaikai.jp">https://nkgtaikai.jp</a>	

高橋の所感

多文化多言語の子どもやそれ以外の表現について その後の理念・背景についてしっかり考えずに使用していたことを！皆さんはどの用語など使用しているか意見交換をしてみる

今までの自分の中には「日本語をしっかり習得すること」いう考え方だが、本人のもう一つの言語を軽視することでことに気付かされた

「文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のことばの発と習得のものさし（ことばの力のものさし）実践力をきちんと読み込もうと思ったが、200ページ以上あることを理論的に素晴らしいと思うが、そもそもこのようなリソースが県や四国で提供できるかどうか？？」

（左）実際の秋季大会の全体の流れも説明しました。

（右）報告の最後に、報告者が所感を伝えて、意見交換の切っ掛けとしています。

（報告者：愛媛大学国際連携推進機構／元 四国支部活動委員 高橋志野）